

■屋内消火栓設備代替・パッケージ型消火設備の技術基準

一般性能

- 確実に作動するものであり、かつ、取扱い、点検及び整備が容易にでき、耐久性を有するものであること。
- 各部分は、良質の材料で造るとともに、充填した消火薬剤に接触する部分を当該消火薬剤に侵されない材料で造り、又は当該部分に耐食加工を施し、かつ、外気に接触する部分を容易にさびない材料で造り、又は当該部分に防錆加工を施すこと。
- 部品は、機能に異常を生じないよう的確に、かつ、容易に緩まないように取り付けられること。
- 消火薬剤貯蔵容器等の容器弁又は放出弁は、手動で容易に開閉できるものであること。
- 消火薬剤貯蔵容器等の規格は、消火器の技術上の規格を定める省令（昭和39年自治省令第27号）第11条から第14条まで、第24条から第29条まで、第33条及び第36条に規定する規格の例によること。
- ノズル開閉弁は、開閉方向が表示されているものであること。
- ノズルは、棒状放水ができるもの又は棒状放水と噴霧放水の切換えができるものであること。
- ホースの長さは、〔Ⅰ型〕にあつては25メートル以上、〔Ⅱ型〕にあつては20メートル以上とすること。
- ホース、ノズル、ノズル開閉弁及びホースリールは、移動式の不活性ガス消火設備等のホース、ノズル、ノズル開放弁及びホースリールの基準（昭和51年消防庁告示第2号）に適合するものであること。

消火薬剤の種類・消火剤量

消火薬剤の種類	貯蔵する消火剤量	
	〔Ⅰ型〕	〔Ⅱ型〕
第一種浸潤剤等入り水	200 L以上	60 L以上
第二種浸潤剤等入り水	120 L以上	
第三種浸潤剤等入り水	80 L以上	
強化液	200 L以上	
第一種機械泡	200 L以上	
第二種機械泡	120 L以上	

■設置基準

		■〔Ⅰ型〕・YPS-80B		■〔Ⅱ型〕・YUK-70	
		・水平距離： 20m以下 ・防護面積： 約850㎡以下	・水平距離： 15m以下 ・防護面積： 約500㎡以下		
消防用設備等の種類	防火対象物の別	耐火建築物 (6階、3000㎡以下)	耐火建築物以外 (3階、2000㎡以下)	耐火建築物 (4階、1500㎡以下)	耐火建築物以外 (2階、1000㎡以下)
		延べ面積㎡	4階以上 床面積㎡	簡易耐火 延べ面積㎡	木造、他 延べ面積㎡
1	イ 劇場、映画館、演芸場、観覧場	1500～3000	300～	1000～2000	500～2000
	ロ 公会堂、集会場				
2	イ キャバレー、ナイトクラブ等				
	ロ 遊技場、ダンスホール				
3	イ 待合、料理店等				
	ロ 飲食店				
4	イ 百貨店、マーケット、展示場、店舗	2100～3000		1400～2000	700～2000
	ロ 旅館、ホテル、宿泊所等				
5	イ 寄宿舍、下宿、共同住宅				
	ロ 病院				
6	イ 診療所、助産所		450～		
	ロ 特定施設	1000～3000		1000～1500	450～
7	イ 幼稚園、盲聾学校、養護学校				
	ロ 小中学校、高校、高専、大学等				
8	イ 図書館、博物館、美術館等	2100～3000		1400～2000	700～2000
	ロ 公衆浴場の内、蒸気浴場、熱気浴場等				
9	イ 上記以外の公衆浴場				
	ロ 車両の停車場、船舶航空機の発着場				
10	イ 神社、寺院、教会の類	3000	600～	2000	1000～2000
	ロ 工場、作業場				
11	イ 映画スタジオ、テレビスタジオ	2100～3000	450～	1400～2000	700～2000
	ロ 自動車庫、駐車場				
12	イ 飛行機、回転翼航空機の格納庫				
	ロ 倉庫				
13	イ 前各項に該当しない事業所	3000	600～	2000	1000～2000
	ロ 特定防火対象物の複合用途防火対象物				
14	イ 上記以外の複合用途防火対象物				
	ロ 地下街				
15	イ 準地下街				
	ロ 準地下街				

■パッケージ型消火設備の設置方法

- 防護対象物の階ごとに、その階の各部分から消火設備のホース接続口までの水平距離が〔Ⅰ型〕の場合は20m以下、〔Ⅱ型〕の場合は15m以下になるように設置する。
- ひとつのパッケージ型消火設備が防護する面積は、〔Ⅰ型〕の場合は850㎡以下、〔Ⅱ型〕の場合は500㎡以下。
- 地階・無窓階または火災時に煙が著しく充満する恐れのある場所以外に設置すること。
- 温度が40℃以下で、温度変化の少ない場所に設置すること。
- 直射日光や雨水のかかる恐れが少ない場所に設置すること。
- 貯蔵容器のすぐ近くの見やすいところに、赤色の灯火およびパッケージ型消火設備であることを明示する標識を設けること。
- 指定可燃物（可燃性液体類に係るものを除く）を指定数量の750倍以上貯蔵・取り扱う場合は設置できない。

※カタログ掲載商品は改良などのため、予告なく仕様・規格変更を行うことがあります。ご了承ください。

●あらゆる防火設備・機器のご用命は下記へ……………



R100

※このカタログは、古紙100%の再生紙を使用しています。

ヤマトプロテック株式会社

本社 東京都港区白金台5-17-2

ホームページ <http://www.yamatoprotec.co.jp>

大阪・名古屋・札幌・仙台・さいたま・横浜・静岡・広島・岡山・福岡／大阪工場・中央研究所・東京物流センター・リサイクルセンター

02-001-0601



パッケージ型消火設備

屋内消火栓の
代替として
適用範囲が拡大
されました。

平成16年6月1日施行 改正消防法適合

[パッケージ型消火設備]



パッケージ1_{one}
Ⅰ型/YPS-80B



パッケージ2_{two}
Ⅱ型/YUK-70

ヤマトプロテック株式会社

屋内消火栓の代替にパッケージ型消火設備

平成16年6月1日施行の改正消防法により、パッケージ型消火設備は屋内消火栓設備に代えて用いることができる、「必要とされる防火安全性能を有する消防の用に供する設備等」として認められました。(総務省令第92号・H16.5.31)

特長

■屋内消火栓より少ない設備費用です。

パッケージ型消火設備は、消火薬剤貯蔵容器・起動装置・加圧用ガス容器・ホースなどがパッケージ(収納箱)内にコンパクトに収納された消火設備です。屋内消火栓設備に必要な水槽などの水源やポンプ・配管類・動力電源等の設備はいっさい不要ですから、設備機械類にかかる費用が少なくて済みます。

■取付工事が簡単なコンパクト設計です。

コンパクト設計のパッケージを据え付け、表示灯電源を確保するだけで工事が簡単。工事費用も大幅に削減できます。

■1人でたやすく操作できます。

1人で効果的に消火活動ができる使いやすさです。

■維持管理が容易です。

すべてがパッケージに収納されているため、メンテナンスに手間がかかりません。

消火設備の
低コスト化を実現する
パッケージ型消火設備



パッケージ1one
I型/YPS-80B



パッケージ2two
II型/YUK-70

屋内消火栓設備代替・パッケージ型消火設備が設置できる防火対象物

屋内消火栓設備の代替として設置できる防火対象物は、令第11条第1項第1号から第3号までと第6号の防火対象物、または、その部分のうち次のものが該当します。

●令別表第1(1)項～(12)項、(15)項 ●(16)項の令別表第1(1)項～(12)項、(15)項の用途に供される部分。

■パッケージ型消火設備 [I型] を設置することができる防火対象物

- 耐火建築物の場合は、地階を除く階数が6以下で延べ面積3,000㎡以下のもの。
- 耐火建築物以外の場合は、地階を除く階数が3以下で延べ面積2,000㎡以下のもの。

耐火建築物	耐火建築物以外
6階以下 延べ面積 3,000㎡以下	3階以下 延べ面積 2,000㎡以下
6	3
5	2
4	1
3	
2	
1	

■パッケージ型消火設備 [II型] を設置することができる防火対象物

- 耐火建築物の場合は、地階を除く階数が4以下で延べ面積1,500㎡以下のもの。
- 耐火建築物以外の場合は、地階を除く階数が2以下で延べ面積1,000㎡以下のもの。

耐火建築物	耐火建築物以外
4階以下 延べ面積 1,500㎡以下	2階以下 延べ面積 1,000㎡以下
4	2
3	1
2	
1	

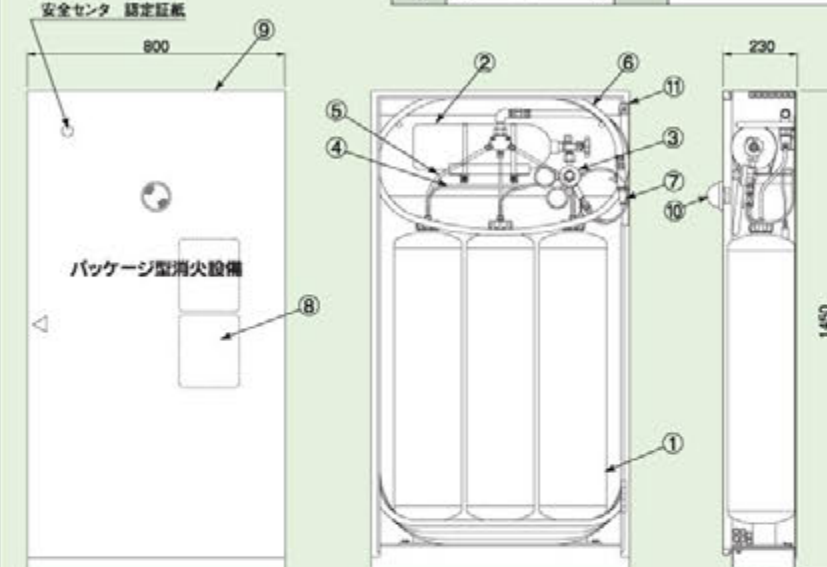
仕様

	パッケージ1one	パッケージ2two
型式記号	YPS-80B	YUK-70
認定型式番号	PG-020号	PG-018号
種別	I型	II型
消火薬剤	第三種浸潤剤等入り水	強化液
消火薬剤認定型式番号	鑑別第14～1号	薬第48～2号
総質量	約208kg	約206kg
消火薬剤(容)量	約100.7kg(81L)	約89.3kg(65L)
使用温度範囲	-20℃～+40℃	-20℃～+40℃
放射時間(20℃)	約165秒	約100秒
放射距離(20℃)	約13～15m	約13～17m
放射量(20℃)	29 L/min	44 L/min
格納箱寸法(mm)	幅800mm×高さ1,450mm×奥行230mm	幅750mm×高さ1,450mm×奥行300mm
消火薬剤容器	28.5 L×3本	69 L(34.5 L×2本)
加圧用ガス容器	窒素・14.7MPa(at 35℃)	窒素・14.7MPa(at 35℃)
ホース寸法	外径21mm×内径12.7mm×26m	外径20.5mm×内径12.7mm×25m
税込価格(標準価格)	682,500円(露出型)(650,000円)	451,500円(430,000円)

※YPS-80Bの薬剤凍結温度は-21℃です。

■[I型]・YPS-80B 構造図(露出型)

番号	部品名	番号	部品名
1	消火薬剤貯蔵タンク	7	ノズル
2	加圧用ガス容器	8	銘板
3	圧力調整器	9	格納箱
4	加圧チューブ	10	表示灯
5	連結チューブ	11	端子台
6	ホース		



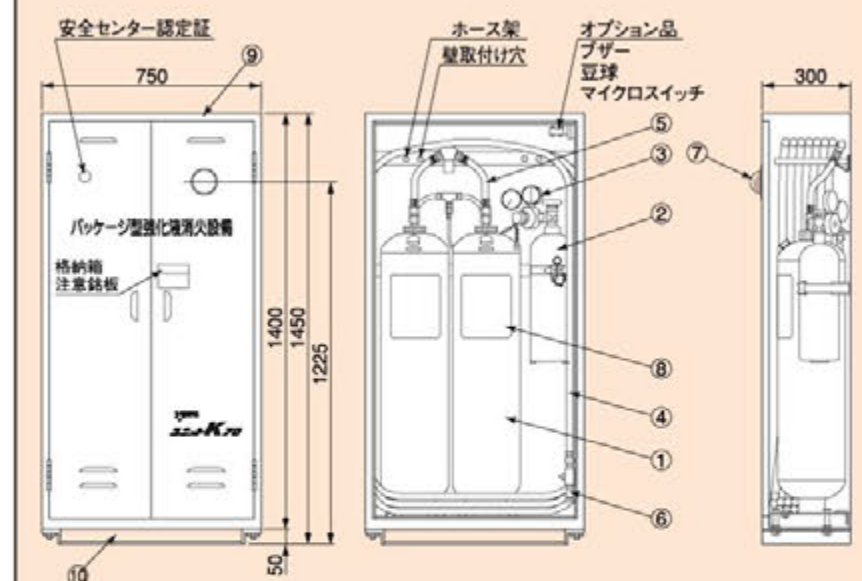
■操作方法



※埋込型もございます。

■[II型]・YUK-70 構造図(露出型)

番号	部品名	番号	部品名
1	消火薬剤貯蔵タンク	6	ノズル
2	窒素ガス容器	7	表示灯
3	圧力調整器	8	操作説明板
4	ホース	9	格納箱
5	連結ホース	10	ベース台



■操作方法



■パッケージ型消火設備に関する変更点

- 着工届の添付図書
 - 「消防用設備等の着工届に係る運用の一部改正について」(消防令第167号消防法第102号平成16年9月14日)
 - 1付 近 見 取 図…防火対象物又は製造所等の所在地付近の略図。ただし、敷地が大きい場合は、敷地内の建物配置図も添付すること。
 - 2防火対象物又は製造所等 の 概 要 表…別記様式1による。
 - 3パッケージ型消火設備 の 概 要 表…別記様式10による。
 - 4平 面 図…パッケージ型消火設備の設置に係る階の防火区画、各室ごとの用途等を明記したもの及びパッケージ型消火設備の機器等の配置状況等を明記したもの。
 - 5断 面 図…パッケージ型消火設備の設置に係る階の断面図を明記したもの。
 - 6配線系統図及び展開図…配線の種類等及び電源系統の接続関係を明記したもの。
 - 7使 用 機 器 図…ノズル、弁等を使用されている機器の詳細を明記したもの。
- 試験基準
 - 「消防用設備等の試験基準の一部改正について」(平成16年7月28日消防令第130号)
 - 「第30 パッケージ型消火設備試験基準」
- 試験結果報告書の様式
 - 「消防用設備等試験結果報告書の様式を定める件の一部を改正する件」(平成16年5月31日消防庁告示第16号)
 - パッケージ型消火設備及びパッケージ型自動消火設備の様式を追加。
- 点検基準と点検票の様式
 - 「消防用設備等の点検の基準及び消防用設備等点検結果報告書に添付する点検票の様式を定める件の一部を改正する件」(平成16年9月29日消防庁告示第24号)
 - 「別表第28 パッケージ型消火設備の点検の基準」
- 消防設備士の種類
 - 「消防設備士が行うことができる必要とされる防火安全性能を有する消防の用に供する設備等の工事又は整備の種類を定める件」(平成16年5月31日消防庁告示第15号)
 - 第一類、第二類又は第三類の消防設備士。